

ごみ問題と未来に輝くまちづくり

政津クラブ 森下 寛明



質問 ↓埋立地は平成二十年に満杯予定である。また、焼却施設の使用期限は地元町内会との覚書で平成十八年となっている。新施設の完成時期と

の空白期間をどうするのか。新ごみ処分場建設予定地住民の公害対策等の不安を取り除くために学者等専門家を入れた検討委員会設置と廃掃法にある施設の安全性、周辺整備を検討すべき。ごみ問題も発想の転換で地域振興と町づくりに投資すべきだ。

答弁 ↓埋立地の延命策として廃プラ類等の持ち出し処理を検討、焼却施設については使用期限の延長協議を行う。専門家を入れる事を地元と協議。ごみ・環境問題の学習・体験の場、余熱利用の還元施設、自然公園等を整備し、地域の活性化と住民の憩いと交流の場の確保に努める。

増加する少年非行や架空請求について対策は

津山新星会議 近藤吉一郎



質問 ↓少年非行や架空請求など市民が被害者の犯罪が増加しているが対策は。答弁 ↓昨年七月、環境生活課に「津山市防犯かけこみ一〇番」、九月には

防犯連絡会議、また十月に津山市安全・安心まちづくり推進協議会を発足し同協議会においてセーフティマイトタウン支援事業として地区住民の方々の活動を積極的に支援。

質問 ↓来年の国体で、選手等にどのような市独自の土産を考えているのか。

答弁 ↓グリーンヒルズ津山周辺の土は備前焼の土と似ており市民にボランティアで土産を作ってもらい津山焼、美作焼として特産品に育てたい。

質問 ↓津山駅周辺整備の今後の予定は。

答弁 ↓本年度に基本計画を策定。限られた予算の中で有効な調査ができるよう内容等は関係機関と調整。

ごみ処理センター建設予定地周辺の環境調査を行っているか

政津クラブ 高橋 誠



質問 ↓アルネ駐車場整備の県支援金二十億円と個人保証人問題について市の責任をどう考えているか。答弁 ↓アルネ再建策の確立により、県支援の受け皿整備と保証人問題の解決を図り、市の責任を果たしたい。

質問 ↓ごみ処理センター建設で周辺の環境汚染や公害に対する調査は行っているか。また着工はいつがメドか。答弁 ↓地下水・浸透水検査は県。鉾山関係は市が環境影響評価を実施し井戸水・河川の水質調査は基準値以下。完成まで六年必要。早急に地元の了解を得たい。

質問 ↓合併後の学校校務員の配置は検討されているか。また「コーディネーター」の充実・強化は図るのか。答弁 ↓合併協議の中で現行のまま新市に移行、合併後速やかに調整する。「コーディネーター」制度は状況を見て継続を考えたい。

津山城跡 交通網対策 新産業の育成

新世紀の会 竹内 靖人



質問 ↓津山城跡の保存整備計画は。答弁 ↓平成二十九年を最終年に現在第一期の整備中。備中櫓もその一環。質問 ↓市周辺部の交通不便地域で交通弱

者対策はどのように考えているのか。答弁 ↓高齢者の外出支援、足の確保は切実な問題と認識している。合併を視野に入れ地域格差が小さく負担の少ない方法、バス路線の整備も含め効果的、効率的な整備を検討したい。

質問 ↓地域産材と住宅建設、補助事業の効果はどうか。新産業の育成は。

答弁 ↓制度の事業効果は高く、地域中小企業の振興に寄与できたと思われる。天然素材、森林バイオマスの利活用、付加価値のついた国産材の利用促進や製品開発等、全国発信の出来る体制作り、企業の育成や情報発信等、積極的な支援をしたい。